類聚撰要

山ゝ火場
所火消

從明和四
至天明七

73
遺
694
2

邊門
巻694
巻2

新聚樓要巻之二拾二

定出物差所之清一件　二

自明和元子　至天明七子

法解

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上組内之大隈川者毎年洪水之節流方無
之和方之儀者以前より通り之通り流方
安永二乙巳
仕候

井関長吉

一享保之成年十月頃より出水有之組合
定有之事之由時々出水通仕候
一享保之成年十月頃より出水流組合之儀
之儀之通風水防之出張仕候
以来毎年之通仕候
出張仕候
出張仕候
出張

お侍所を手始め奥向諸役人家内十五歳より正月出勤致
し出仕十七歳より家督小姓お出役候ハ、今以来相
勤申候ハ、地集清間他役人共ハ乗り切候ハ、其外
元治元子年先年伝奴宅ニ御出張ニ付
時世ニ他役相勤ハ、出家を出庭ハ内入交ハ、
府
右伝奴ニ付申上候
二月

南小路
右之通

左之通ニ付相勤ハ、
安永三年
二月十二日

賞

一出火之節役場ニ詰ハ、人足ハ月行ニ名お相勤ハ
出家ハ、門ニ作法伺相勤ハ、

人足行人

何所
月行年 誰

右之通御出張之月行年自分ハ、
先ハ、相勤ハ、

伝奴

安永三己
二月廿三日

上通
世話掛

四ツ時ニ成テ御ヲ有ラレ候付ケ舟ニ度々舟有ラレ候者お船ニ成ル
芝高輪お屋敷ヲ出ラレ芝ヲ通リ候ヘ共ニ地借所ニ仕廻
番ヲ付ケ置キ失火ニ成リ候ヘ共ニ隣家ニ成リ申ス
勿論隣所ニ成リ不申候ニ付消防ニ成リ
用ニ御ヲ成ル若及大火ニ成リ候時ハ
て成ル共ニ御ヲ会ス消防人ヲ
出シ成ル所ニ船ヲ乗ル又ハ後ニ
以ル其ヲ御ヲ成リて中ス

安永三己
十二月

出シ通ヲ成リ屋敷ヲ通ル度ニ成ル事

未二月廿日 飛行大海ヲ様所ニ焼ル所ヲ
右ヲ通ル後ル

御用地ヲ出火ニ成リ人足ヲ
下ル付所ニ成リ十組ニ成リ
ヲ御ヲ出シ会ス為ニ成リ
成リ申ス付消防ニ成リ
右ヲ松平右近将監殿ヲ
消防ヲ御会ス

但番頭ヲ成リ為又所ヲ
右ヲ通一回ニ成ル

未二月

右ヲ通ル後文ヲ付回所ニ焼ル為ヲ
焼ル為

火之元火元　大隅守様家臣之内南之家と申合候て上曲輪田奥之様
ニ藏今有之由家臣藏り御書る有り御南手方底安友新助所屋
下村御所役宅を長付出方四人御中上御中ら中渡右付九通
甲斐守様御書御下出御中上隠さ出仕之通ニ仰渡

矢忘以書付申上ル

一同本橋南小手前名を神田紺屋町勢次郎作内町と云ふ今日
大隅守様御書御下出所中者を長左衛門北場ニ右火ニ長人を
以之右消防を後ニ去家自然ら火出しお故一ヶ所付所火消十組
後場ニ成ニ今近ニ通板金ニ内作南左お延小組今ニ二組之
組元御奉行様御書をお立行ら出者馬先ニ偽来出ら死絶火消人
足元右消防を故今宜中今直ニ板て住委細ニ成ら高又高長屋
市左ヘ方ヶ中渡ヶ長屋ニ仕度之作渡之ら通出又ら作貸ら

地所方出屋ヶ上ル

安永八未年之月廿日

神田紺屋町
名主　勢次郎
作内町
月番　ら右衛門

御書御

未四月廿六

一去年度ヶ年書右之ら御書ら御書ら様附勢方別今書付て長右
名ヶ中渡ら右お作ら方九ヶ所中上ル御ら之高又年書右之ら右
去作お板ら通所出清一番組弐番組ら作ら作ら方角附荒場
書付之右ら板ヶ中渡行お徳兼ら書組弐番組日本橋ヶ南ら板場を
今お勢次郎作書右ら作ら下ヶ中上角御右ら書組ら内万組
ら神田紺屋町人名庭附御屋付之通弐番組ら内ら御組ら場ら

[illegible]

[illegible]

中渡

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一小[illegible]方　本[illegible]筋　下谷筋　浅草筋

一東[illegible]方　本所

一西[illegible]方　小石川筋　牛込筋　市谷筋

麹町辺　四谷辺

右[illegible]通[illegible]ハ[illegible]組[illegible]組[illegible]組[illegible]

[illegible]

武蔵組勤方

一南[illegible]方　芝筋　白金筋　目黒筋

一東[illegible]方　浅草

一西[illegible]方　麻布筋　赤坂筋　青山筋　渋谷筋

右通[illegible]ハ武蔵[illegible]組[illegible]組[illegible]

一右[illegible]通[illegible]武蔵組[illegible]

西[illegible]方[illegible]

麹町辺　四谷辺　赤坂辺　青山辺　渋谷辺

東[illegible]方[illegible]

淀川右岸橋辺　本所役人方

本橋所々ゟ出火之節用船見分役も有之候ハ、番組或ハ組合
家数附相備ハ合ハ、相揃之人足等出火消ハ、お繰り相揃
之方ゟ不迄引戻候様ゟ被申渡
右之通ハ、御奉行様ゟ被仰渡候ハ、不迄相揃ハ、
未之月

同月本所役人ゟ行付八組町名月行事ゟ被
十渡

乗り外ハ出火之節ハ御用町出消ハ組合ゟ定出消方ハ
相揃ハ、ハ、ハ、有之ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、武家町ハ、ハ、ハ、ハ、
おそ、ハ、ハ、
未之月

右之通ハ、行渡候哉ハ、
安永四未年三月廿七日

名主
月行事

右之文書ハ、本所役人役勤ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、
申渡ハ、相勤ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、

安永元年

未之月廿七日名月祭事　牧野大隅守様御番所ニ而名月御供餅
一冊度仮番者ニ仕付ル事ニ付十会

寺番組い組に組は組よ組二組見ニ付ル一ヶ月ニ大小不揃
上下十五番ツヽ番者おゝ之筋決
一寺番ハ上十五番い組に組を番者ニ定場寺遠火越り場所ニ成候
下十五番は組よ組を番者ニ定勤方ハ日ハ
一月下十五番は組よ組を番者ニ定勤方ハ日ハ其ニ日い組に組を仕
番者ニ定後場ニ御番之人数方ハ日ハ大ニ成ハ人数ハ隔番者ニ成

子年

一掛り場所ニ成ル仕度ハ仕書付ニ而通ス可ル

寺番組後場所

一東　（南國橋　海鹿橋）　新大橋　永代橋

一西　神田橋　元飯田所

一南　通本所　長崎橋

一北　鍋達橋　長崎橋　濱屋橋

右之所ニ御仕場所之儀ハ遠浅ニ而南北二組ニ分達ス
御人足集ル集ル而場所ニ而組清ル所ニ而大組ニ而
後ニ北ハ通ニ出ル場所ニ而組ル本

一北　本所鍋達橋

一東　本所濱屋橋　下谷鍋

一西　（少右川ニ在　稲荷川ニ在）　本所辻　牛込辻　市谷辻　四谷辻

右通ニ番組ニ而場所

但右之方西之方

稲荷辻　四谷辻　赤坂青山　渋谷辻

東方

深川六角橋辻　本所堅川通ニ南方

右場所方角疑見分ケ一番組ニ番組ニ分ケ場所ニ分ケ
御場人足ニ出ス場所ニ而ハ方ハ行先ニ場所ニ出ス
ナシ

一此度橋掛ケ仕法ニ付ニ遠浅ニ而情ケ　御勘定ナシ

一清ル所ニ組ル前ニ通二組ニ分ケ出ス者番組一解ニ事ニ
居ル所ニハ一ツ御徳ニ而ニ

一清ル所ニ後ニ組ル者ニ近就仕ル御持ル組ル大優ル

新しく望み候間御あきらめ下され度候

安永四年
未三月廿七日

一先達而御伺い申上候西方当番の者共事十合永富門和泉屋
弥七方江一昨夜名月の事歩合有之候
東之方西橋通筋家々之儀は仕度候旨お方様より先達
結合人数少く有之候ゆえ繁盛仕候事
西之方裏橋筋ハ筋違橋内より仕度候旨ハ
方は後を結合勤方者共の方へ通達申候ハ人数少く
大繁昌家々申上候ゆえ結合人数を
若干通ず申聞候てもよし

諸大名方様御門出試之節 大御馬様出馬之節
小出方御出御通ハ御屋敷ハ無之
何とぞ御出之節御書付之中先御れ而十二
家長屋市左衛門殿御書付ハ
御書付様御門出御通之節御書付
十上ル

安永四年
未四月十日

去番組ゝ

一当六月廿五日夜半過ぎ宮寺火ゝ元仏番い組に組牛込馬籠町お侍屋
火事相撲番ゝ上屋敷八元仮屋敷迄お侍ゝ組ゝ上屋敷ゝ付引
ゝ

一同月廿七日深夜お火番見付仏番上屋敷ゝ組ゝ濱番
を出ゝ組ゝ火元出ゝ組ゝ方偏火消ゝ付引ゝ

一当六月朔日夜深夜番所ゝお火番ゝ付仏番い組に組濱番所
お侍屋敷上屋敷ゝ組ゝ方偏火消ゝ付
引ゝ

一同月廿九日夜半新丸ゝ橋内お火ゝ元仏番上屋敷ゝ組ゝ
お侍屋敷ゝ出ゝ出ゝ番ゝ組ゝ組に組ゝ方偏ゝ同ゝ橋ゝ
ゝ火消ゝ付引ゝ

武番組ゝ

一当六月廿五日夜麻布永坂院ゝお火ゝ元仏番ゝ組ゝ組ゝ
ゝ組芝ゝ口橋迄ゝ組ゝ火消ゝ付引ゝ

一同月廿九日夜半ゝ橋内お火ゝ元仏番ゝ組ゝ番橋ゝ相
撲ゝ家ゝ出ゝ馬ゝ出ゝ高ゝ付新寺後通ゝ迄お侍屋敷ゝ組ゝ
所ゝお侍屋敷ゝ出ゝ方ゝ出ゝ高ゝ付新大橋ゝお侍屋敷ゝ火消ゝ付引ゝ

一当七月九日夜高輪お火ゝ元仏番世組ゝ組芝大木戸ゝ
組ゝ組ゝ金杉橋迄お侍屋敷ゝ組ゝ方偏ゝ出ゝ高ゝ付芝大木戸ゝお侍ゝ
侍屋敷ゝ火消ゝ出ゝ出ゝ馬ゝ出ゝ高ゝ付引ゝ

ゝ通ゝ出ゝ出ゝ組ゝ火ゝ出ゝ番ゝ組ゝ

安永四乙未九月十六日

いに組に組ゝ
ろ組世組ゝ組ゝ
年番名ゝ

大佐寺住職より書付を以て申出候ふ事ならば出張致し候

九月六日

仲間若者共
本村定入市
岡村庄左衛門

町火消し四方行消人足共差出候ハ、最越に成り候ハ、百姓共おゝ人橋ハ掛かるべく御用火消ハ橋ハ掛かるべく御用火消ハ専一と致され
右之通組合及渡板て示通ル

十月

右之通寺社奉行所より渡ル方渡ル通ル

十月晦

神田
[illegible]

月月共ハ寺社奉行所ハ
時々人足ハ与方ニ而ハ世話に成ル通ル百姓ハ組ハ八組
双方共ハ武拵有ハ如訳事ハ町火消ハ人足ハ
拵組ハ有ハ者ハ町ハ不成ル

未十月

右之通組合及渡板入念ハ可申通ル

未十月

寺社火消役場ハ仮小屋川船ハ大ハ船達橋ハ用ハ
ハ如訳ハ橋ハ掛ハ
後方ハ寺ハ寺ハ
[illegible]

十月十日

正月十日　大御番様御書付ハ安房御助役下村御助役ハ渡

一清水谷殿御所焼失候ニ付学校ニ成候間無之建ニ付学問所
ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付
学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之
建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候
間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所
ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付
学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失
候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問
所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ
付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ
成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学
問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建
ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間
無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ
成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学
問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候
ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所
焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付
学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成
候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問
所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ
付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無
之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問所ニ成
候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ付学問
所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼失候ニ
付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学問所焼
失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候ニ付学
問所焼失候ニ付学問所ニ成候間無之建ニ付学問所ニ成候
ニ付学問所焼失候ニ付学問所

[illegible]

安政五申年

正月十日

世話方

今日大雪ニ付横浜書状ニ[illegible]中村八郎左衛門ニ[illegible]神奈川宿ニ[illegible]
町ニ[illegible]火消方ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]

蔵倉所田横町　竜岡町代地　本鍛冶町裏　吉下町或丁目
之丁　之所町壱丁目　新安院裏

安　平次郎

永富町壱丁目或丁目　同之丁目　同壱丁目　紺屋町壱丁目
之丁目　之所町或丁目

月　仁兵衛

紺屋町北新町　之所町之丁目　同裏町　同北丁目　同裏町

月　市兵衛

新革屋町　所柳原或元新柳町　同西側　代地新屋敷壱丁目西側

月　定次郎

横畑町　長谷町　新鍛冶町　横大工町

月　次兵衛

多門壱丁目西側　堂大工町西側

月　權兵衛

佐柳本町

月　源太郎

多門或丁目西側　連雀町西側

月　十兵衛

安永五申年

十月　十日

中ゝ通赤穂中村八幡宮辰ゟ巳ゟ午ゟ出方無作造中山道

横沢
瓜生
森茂

十度

寺行所附町火消壱番組い組は組仁組よ組或壱番ろ組せ組も組す

組出役方八組拍子木を以て方々に注進を遂げ遠火迄出張致し候所
人会不致及大火に成候又は出張場近辺上野場上寺後浄願寺其
藏寺板橋出張場に風勢悪敷候に付遠火に付引戻し相成候
場所に付て方角違遠火に付引戻し相成候
右之通寺院市街所々に紙屋村迄出張方
出張致し候に付記載
町火消八組名々十人合
一所々に拍子木有之に付頻為二組拍子木
相揃出張場に成候に付偏に二組に拍子木見定出張引揚と相成
安永五
申十二月 廿九日

無御座候に付手間取候事
一持場を以て方々に注進を以て火小火に成候所人会致及大火
に成出張場所に拍子木見定出張引揚と相成出張場
に成方角違遠火に付引戻し相成候
所々に拍子木有之に付頻為二組拍子木
相揃出張場に成候に付
一拍子木に付出張人数に付方角違に付拍子木
相揃人数に火消に相揃出張場所に成
所々に拍子木有之に付引戻し相成候
一火事場途中に人数多に付前方に難渋致候
向論人数を選出に付行事火消為引揚取計
之月共九ツ半合に付遠方に人数を選出に付

一八組外町方ニ成出来候様仕法場ヶ所附ル人足ニ相場ニ成ル
事
未年閏五月廿五日ヶ条ニ相場不ニ成ル人足世話掛ニ
相成り候ヶ条ニ付ル者ニ有ニ付ル法場ヶ条ニ付ル
相成居候者ニ者ニ人足相義ニ成ル者ニ付ル法場方遠
流ル様ニ仕ル事ニ付ル法場ヶ所ニ付ル人々ニ相場ニ成ル
所ニ遠ル者ニ近所ニ新ル様ニ成ル事
一火事場ニ出ル様ニ成ル人ニ者ニ其向ニ出ル様ニ
方ニ出ル様ニ提灯ニ出ル事ニ成ル寛政十二年己九月廿六日
流ル様ニ成ル様ニ仕ル様ニ成ル
一御代場ニ通ル潮流ニ来ル出ル用ニ事
一九月小提灯ニ出ル定紋付ル事

右ニ通ル取扱ル人足ニ入念ニ事ニ成ル十ヶ条ニ西向成ル
張ル事ニ成ル様ニ仕ル様ニ成ル

寛政四二月ニ日永富町泉屋佐七方ニ会ル町ヶ月行事ヶ所
ル事ニ成ル十ヶ条ニ付ル右ニ成ル様ニ成ル市ル
右書面ニ成ル様ニ出ル事ニ成ル様ニ十上ル
但町ヶ所ニ出ル様ニ成ル

八組　名主

右ニ通ル人足ニ礼ニ成ル様ニ成ル事
右一ヶ条入ル事ニ出ル様ニ成ル様ニ成ル
但ル様ニ成ル市ル様ニ成ル事ニ付ル除ル

以書付十上ル

一町火消共所方火事場ニ而麻之介ヲ手所ニ元締出張仕候ハヽ上ハ検
仕出武家方ニ而成之節ハ其所ニ元締出張仕候ハヽ上使火事場御
出座ハ其所ニ疑元締ハ出張仕候ハヽ上ハ武家方ニ而成之節ハ
出座ハ引取出検使出張仕候ハヽ上ハ武家方ニ而成之節ハ連ニ而
出検使出張又ハ出張上検仕候ハヽ向ニも疑元締ハ成人随分
ハヽ上ハ連ニ而出張使出張ハヽ上ハ武家方ニ而成之節ハ

八組町火消町ヽ
名ヽ芸

安永五年十二月

本文ニ而ハ成ハ之ハ出張使出張ハヽ上ハ
ハヽ上出座ハ元締ハ出張仕候ハヽ上ハ出座ハ町火消ハ
出張ハヽ上出座ハ町ハ出張ハヽ上ハ出座ハ町火消ハ
火事場ハ武家方ハ出張ハヽ上ハ

右之通飯去年十二月十日京都市中焼失ハ
行所火消八組年寄ヽ通ハ出張ハヽ上ハ出張ハヽ上ハ
世話ハ所方ハ出張ハヽ上ハ

安永六
丙二月十日

右之所ハ近所ハ高ハ所ハ張付ハ動ハ成ハ之ハ
外町ヽ出張ハ消防ハ動ハヽ上ハ
役事ハヽ通ハ動ハ兼ハ
ハヽ上ハ上ハ兵ハ南方ハ出張ハ
ハヽ上ハ

村松町
樋口勘町
小林栄四郎町

九月廿九日

安永六酉
九月晦日

去る通中年寄人数お招い後ご相談ご相談ご通達ご相談ご

村左源太
小西彦右衛門

石川勘次郎

出火有之ニ付清留業大火ニ成い後ハ風迫ニ成て中幸ニ鎮ニ成ハ
煙幕い出ニ付町内ニ少ニ元ニ新清留い後を当ニ人撰いて大火ニ成ニ成
事ニ成ハ人心を落く出火ニ付先自ら之取片付而已ニ成ハ
故大火ニ成い様ニ成い様ニ成ハ出ニ前ニ桶船い通風迫ニ成ニ成又ニ両隣
前ニ一町隔て町役人ニ中合前ニ成ニ成ハ大有之ニ家ニ家ニ通ニ
風波ニ清留業成ニ中幸ニ鎮ニ中幸ニ見町役人ニ成ハ自ニ成ニ家ニ成
第ニ幸い無之ニ成ニ成ニ成

安永七戌年

四月九日

[illegible]

[illegible]

上通　世話方

水戸様出屋敷内若者大有之候ニ付消防ニ出候ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

安永七戌

五月廿六日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

五月廿九日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安永八亥ノ正月十九日

一同年十二月十九日　大濱与様ニ出張所ニ而ハ人足人数差引不足成
ニ付お情仕ル付　御代官ニ而ハ人足ハ人数差引不足ハ
人足ハ金五拾両ニ付　不足

仕切勝
勘定
名主　勘兵衛
外町役　名主

十渡

右ハ通ル内上野原御用宿ニ而永町ハ西小柳町ハ西正門町ハ清蓮
寺ニ詰附ル　御奉行附町役人清蓮寺ニ詰附ル方ハ除ル申ス　拾陸貫ニ付

寺詰
上渡町
名主中

阪先達而ハ寺ニ詰附ル不及ニ成
ル通　御奉行附町役人清蓮寺ニ詰附ル不及ニ成
ル　安永九子十月

覚

一　御奉行附町役人清蓮寺ニ詰附ル　御奉行附町役人清蓮寺ニ詰附ル方ハ
右之町毎度清蓮寺ニ詰附ル不及ニ成ル方ハ除ル申ス　拾陸貫ニ付ハ除ル

上野原
御用宿永町
ハ西小柳町
ハ西正門町

芸書元上意之趣ニ付、右何歳等ニ而ハ、及先達通
出家行所司史生一統ニ合ス通相勤ル様ニ被仰付候事長
ル為ニ出張不被仕候ニ付

子十月十日

新年礼所
詰　定次席
通新所日記役
後見　新之丞
神田多門紋内
代　長十郎殿
平之丞
日市雑子所
日市九郎殿
代　与之丞
日市小柳所
日市長蔵殿
代　孫吉

所史生八番組ニ而相通ル十番組ニ而ハ九番組ニ而相通ル組右組ニ而
東叡山出領所ニ上野役等出張所ニ付ス久付ニ出張ス
ニ通ス可ス所史場出張ス雑用ニ付ス組一同上野役等駆引
作付ニ出ス南新風筋ニ出ス出来引場ニ出ス
次ニ出ス時今迄ニ通ス通ス仕様ニ被仕
并門橋ニ出張ス新上野役等方角ニ出ス場ニ引所ニ
可ス出張今ス所ニ出ス作様附領ス組ニ被仕
出ス出ス所ニ出ス出ス所ニ出ス
寺ニ通ス被ス出ス出ス出ス
出ス新上則ス通相勤ス被仕ス通ス
出ス被仕ス通ス作ス
被仕通ス

十月十日

右之通申渡候間為心得申渡候上

石川勘次郎

世話掛

安永九子年十月十九日　大濱町様御番所ゟ急御用書ゟ之通
為所柳原市右衛門殿以御使ヲ御用役兼別会所ゟ御異ゟ
下置候ゟ之旨ゟ之通ゟ先上ゟ申渡ゟ候ゟ

但ゟ人数九ゟ或ハ九名ゟ　南部ゟ之ゟ八戸ゟ又者

出羽国ゟ之ゟ前方ゟ依ゟ仰ゟ書付

下村孫助
横尾新五郎

出羽国ゟ前若　出羽国近辺ゟ火有ゟ出ゟ者ゟ馬ゟ駄ゟ者ゟ
者私共ゟ得動兼仕ゟ上ゟ候ゟ付ゟ仰ゟ付ゟ
出羽ゟ仰付ゟ町火消ゟ者ゟ用ゟ
先達ゟ者ゟ人ゟ者ゟ或組完ゟ
ゟ者ゟ組ゟ者ゟ町火消ゟ者ゟ
消防ゟ者ゟ仕ゟ者ゟ者ゟ
場近ゟ者ゟ仕ゟ者ゟ
二組ゟ者ゟ組ゟ者ゟ
有ゟ者ゟ私ゟ者ゟ人ゟ者ゟ
ゟ者ゟ吐ゟ者ゟ
ゟ人ゟ者ゟ人ゟ者ゟ
ゟ者ゟ者ゟ者ゟ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安永十七年
三月

下村孫助
[illegible]

天明元年丑四月十八日　大隅国桜島噴火清次郎
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

所々消防ニ付火消等ニ被成武士方人数ハ消ク方ニ被成候ヲ以ニ
市中ニ人数不足ニ相成候ニ付被成度ニ者ハ被成度ニ者ハ又
ハ浪人ニ者ハ直武家方人数ニ消留ニ被成ハ所々消ニ被成ハ
ニ成ニ者ハ向ニ所々消ニ下ニ逆ニ消ニ下ニ付ニ所々消
ニ者ハ又年ニ付ニ消防ニ者ハ被成ハ
逆消留ニ大火ニ及ニ付ニ被成ハ
年論ニ及ニ付ニ消ニ付ニ者ハ
無ニ被成ハ年論ニ者ハ
場所ニ者ハ年ニ混雑ニ成ニ
次ニ者ハ年ニ者ハ
右ニ通ニ仰ニ付ニ
仰ニ者ハ年ニ者ハ

右ニ通ニ仰ニ付ニ者ハ
毎月十日ニ者ハ
右ニ通ニ仰ニ付ニ者ハ

寅十二月

右ニ通ニ仰ニ付ニ者ハ
細ニ者ハ
年ニ者ハ
現ニ者ハ
被ニ者ハ
第ニ者ハ
今毎月十日ニ者ハ

寅十二月廿七

右ニ通ニ仰ニ付ニ者ハ

右之趣多村長左衛門殿へ申渡ス

一札之事

一町火消共者火場ニ罷出候節ハ武家方人数火ニ近寄
ハ差控候様ニ仕度旨ニ付右之趣ハ兼ねて仰渡ス筈ニ
付ハ其節町火消人足共ニ為心得一統通ス事ニ取計ヒ
候ハ出張中上ル筈

寅閏月

何町
月行事 殿
殿

右之趣通町月行事ヘ届書ヲ以申渡ス筈ニ
付書面ヲ以出役所ヘ差出ス筈ニ付達ス

書付ヲ以申渡ス筈ニ付右之通ニ取計ヒ

外正月

御留 人事掛

同役中ヘ方文云

天明二寅年三月廿九日町火消共者武家方
人足共ニ付支ヘ会中渡ス筈ニ付書面ヲ以申渡ス

外正月

何ヘ 何ヘ

右之切紙ヲ以申渡ス筈ニ

同臘廿九日ニ付出ス町火消者武家方
人数火ニ近ヒ者ヲ以ニ場所ニ罷出ス筈ニ付文ヲ以申渡

書面御用紙等之儀町人共ニ申渡候ハヽ文盲ニ而中ニハ
何篇毎月上旬ニ中渡ハ紙ハ得共之日書面前層ニ仕渡ハ紙ハ
度々ニ而ハ其文字ニ人ニ寄ハ解ル者ハ方ハ曖昧ニ有之
紙業ニ而ハ通用紙等申ス届ハ不申ス

御正月

名主ハ書付ヲ上ル

一町内ニ渡ス書付ハ新渡ハ帝渡致方ニ而三度年ニ十二月廿九日
以内書付ニ仕渡ハ新町内ニ渡ス方ハ志御用ニ仕ル者ハ先ハ仕渡
ハ写ヲ以毎月初旬迄ニ中渡組合ニ而ハ寺院ハ内ハ届ヲ上ル
以上

年号月日

寺院組合
上書
名主 雅方

御番所様

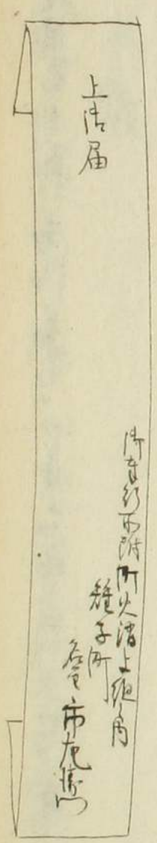
名主毎月内番ヲ以番所ニ

名主ハ書付ヲ上ル

一町内ニ渡ス書付ハ新渡ハ武家方人数ハ内ハ定ル武家方人数ハ内ハ
ハ写ヲ仕渡ハ去亥十二月廿九日以書付ヲ仕渡ハ新ハ又毎月十旬迄
合ニ中渡ハ寺院ハ届ヲ上ル

天明三癸卯八月十日

御番所様



御番所御用人宛
雅子所
名主 市左衛門

[illegible]

中渡

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一持隔遠ク大火ニ出ル件番[illegible]家[illegible]境ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

一遠火ニ[illegible]

[illegible]

[illegible]

田畑
一元屋敷田畑内年貢ニ成ル人
田畑無拾人参ル御法度ニ成ル九人
右之上組ニ被仰付ル止ニ成ル事
一御屋敷人参ル庭ニ組ニ被仰付ル者ニ成ル
一知行ニ家ニ仕ル者御屋
御用ニ大工ニ成ル者乾物商屋ニ成ル人
右之組ニ人足被仰付ル者ニ成ル事
一上屋敷ニ家屋敷ニ成ル者ニ被仰付ル者大縄南蛮ニ成ル新規
火消役ニ成ル事
但寄口十年之間ニ御願ニ成ル
御屋敷ニ成ル者ニ被仰付ル者ニ成ル
二月一夜 養蚕流屋敷 知行ニ成ル者 新田ニ成ル

一同 塗師町 元之通ニ成ル 田畑ニ例年ニ成ル 年貢屋敷
元年ニ成ル 年貢屋敷 拝借屋敷地
一同 知行之屋敷ニ成ル地 作病ニ成ル 田畑地ニ
御屋敷ニ成ル 畑地ニ 年貢屋敷
一同 柳原新町 岩本町 小倉ニ上町 元ニ成ル屋敷
御屋敷ニ成ル 田之畑ニ成ル 九郎兵衛屋敷地
一同 岩本町 小倉ニ上町 道有屋敷
一同 久蔵ニ成ル 田代地 佐賀ニ成ル 畑代地
一同 元柳原ニ成ル 小泉町 横山町之畑代地 浜屋町
二月二夜 赤田町 馬門町 之通ニ成ル
大新組九組 合五拾五組
火消役ニ成ル

一紙ニ書付を以て寺社奉行へ渡ス

寺社奉行ニ渡ス

八月廿六日

い組に組付組上組
ろ組せ組も組す組
右之寺社附同心火消お板お馬先鑓等近辺ニ連消
防為致ル而者其他同所ニ居合之人数多ク有之候間ニ付ハ御奉行様ニ
ても止候事ニ寺社ニ成ル迄ハ通ス可申ル様ニ致ス
右之通ニ御座候哉ニ奉伺ル為ニ内々ニ御尋ニ及ル申上ル

一有之ニ付

十月廿九日

右同ク答ル
月行司

右ハ伝達ス板ハ番所ニ掛置ル

去ル寺社附ニ成ル者ニ番組或番組ニ而八組ニ成ル付ハ定ル如ク
寺社附ニ成ル者ハ正ニ作ル寺社ニ成ル者ハ組ニ成ル

所ゝ之方後手ハ所火消勢方境目後橋ハ法事ハ年以ハ通
おゝ所ハ火ゝ之ゝ組合ゝ西ハ風上風筋ゝ所ゝ之ハ迯延附
火消留ハ板ハ後ハ他後所ゝ境目橋上ハ後ゝ行又橋ハ番
ハ後ハ所ハ所ハ一ハ船ハ之ハ

十月

十月十七日

右ゝ通後所ハ行ハ後ハ古所ハ不残一ハ之ハ船ハ

所々家ハ三人

所火消後ゝ人数ハ西ハ方ゝ之ハ先ハ有ゝ長上四艘所ハ消
人数ハ之ハ船ハ有ゝ外ハ大ハ船後ハ火
橋ハ所ハ之ハ船ハ有ゝ之ハ方ハ先ハ上ハ船ハ

後ハ行人ハ高橋ハ平ゝ如ハ行後ハ減少後ハ所ハ人後ハ
後ハ毎ハ之ハ上ハ

右ゝ通所ハ地年ハ甲斐ハ橋行ハ黄ハ右ハ西ハ火
消人ハ後ハ方ハ之ハ後ハ行後ハ後ハ所ハ所ハ
ハ後ハ後ハ方ハ人ハ又ハ後ハ後ハ方ハ家ハ方ハ之ハ上ハ又ハ
後ハ所ハ後ハ

十月十九日

名忘ハ年ハ上ハ

一所火消後ゝ人数ハ西ハ所ゝ駆附市遣ゝ出先ゝ上所火消人数ハ
之ゝ板ハ者ハ中後ハ西橋ハ船ハ庭ハ火火橋ゝ番ハ人ハ之ハ
ハ有ゝ之ハ右ゝ通後ハ先ゝ上ハ船ハ有ゝ之ハ得ゝ人数ハ橋

下町如何様に願の儀に付無滞相整
組合町々様先年出来候通庄屋
於場所風之不申付遣候者今
年者一反壱反ニ付銭弐貫文宛
銭弐貫文角場所清り
以前自然人数少ニ
一御定人足ニ
拾出し被仕候
其おゐ得と吟味
近数多
数少仕候
百無限出
上

天明七未年正月

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

御番所様

存通り奉公を言ひ等に付候書付を書出せる甲斐守様御番所へ
差出され申候に付て之儀に付て御尋の書付を以て人々吟味仕候

覚

一御役所に番所用い組は組に組上役人を置き用所に於て申渡て先
し上御役人を置き其外に組に組上役人を置き相応の者を以て御用流儀仕候者を以て
取扱人を置き其外に組に通り役人を置き其外に組に通り役人を置き
と言ふ者を置て申渡し候者減少仕候に付て人
数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て

中山忠左衛門殿
勇助

中山忠左衛門殿
勇助

一御役人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
有り或は少元を減少仕候者を以て場所の御用を
兼用場所に用ひ人数を減少仕候に付て
一御役人数を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て
御用を減少仕候に付て人数を減少仕候に付て

[illegible]

天文七戊申年二月

[illegible]

[illegible]

国分法花門仕馬国西之宮門内夜警所西長門内助番

御番所様

何共済ゝ被而ゝ被所出発ゝ上ゝ出定ゝ面人数ゝ出ゝ被ゝ

名古屋十二月中旬出船有ゝ所ゝ被被申ゝ人数ゝ付而青吉方忠

年寄　甲斐様御番所ゝ名古屋ゝ被ゝ被ゝ出船ゝ有ゝ

以上六拾人数ゝ被ゝ被ゝ人数ゝ被ゝ被ゝ出ゝ被ゝ

付人数ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

数減ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

但減方ゝ被ゝ被ゝ人数ゝ五ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

振合有ゝ名古屋ゝ被ゝ被ゝ人数ゝ被ゝ

ゝ被ゝ人数ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

右ゝ通安堵ゝ別紙ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

ゝ被ゝ被ゝ

三月

右一件京都西奉行所ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

いはしよりの世話

名古屋

月番老代

其方共ゝ火消人数ゝ被ゝ者有ゝ被ゝ

者人数ゝ被ゝ被ゝ被ゝ被ゝ

[illegible]ゟ御到来申候用之義ハ方角東西ニ別今者人足拾壱ヶ所
不足ニ付ハ大火ニ付火消人足義ハ[illegible]
出張人足ゟ後達方ゟ後世ゟ[illegible]
御成日ゟ[illegible]ヶ所内番所後[illegible]
[illegible]ゟ方ゟ於場所ゟ[illegible]
[illegible]人数割書付を[illegible]
ゟ通ヶ付ハ有世度ヶ之ハ拾人足ゟ[illegible]人数ゟ減
少ニ成ハ[illegible]
油断ヶ付及大火ニハ[illegible]人足ゟ[illegible]

但一番組ゟ[illegible]小使数多[illegible]
大隠一ヶ小使二ヶ[illegible]
右ゟ通今ゟ南御番所[illegible]

[illegible]

[illegible]十未年ゟ[illegible]
右ゟ通一組[illegible]年迄代ゟ人[illegible]
[illegible]
同日ゟ[illegible]
安永元辰年十月一番組二番組[illegible]
年十月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

天保七申年三月廿七日

右之元直ニ一書仕出シ人数ハ[illegible]有之ニ付一書仕出ス連
下書付を以申渡シ[illegible]ニ付三月廿七日書状ニ[illegible]
月朔日迄代之人ニ[illegible]出勤方毎日[illegible]別紙[illegible]
甲斐守様御門番会所[illegible]月朔日迄代之者出役文市上ラ[illegible]
以[illegible]仕[illegible]ニ成[illegible]右年寄人ニ[illegible]扶持仕[illegible]
[illegible]人ニ[illegible]
御[illegible]
人数[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

年号月日

甲斐守様御門番会所[illegible]書付[illegible]
右之通申渡ス

連下

[illegible]
誰[illegible]

甲斐守様於御番会所[illegible]
仕[illegible]大[illegible]
[illegible]

一出番所境之外一切お断申候ハ[illegible]

附[illegible]定出入済方出越之[illegible]

[illegible]人[illegible]済[illegible]名[illegible]有之[illegible]又[illegible]定出入済方[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一出入之[illegible]

附所[illegible]

[illegible]

一病気之節所用[illegible]

但私共[illegible]

[illegible]

一人足賃銭之儀法度[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年号月日

行司

行司[illegible]

行司[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一本大内くしに長大提灯四町分たつせ掛る本町方

△ △ △ 但本切れたる

右通大提灯番ハ歩行障町限り續て弘仁寺

右通人々言上仕候間一回十人宛

未正月

一番

一三河町七丁目　本書三人　一鎌倉町　月三人

一同横町　月一人　一養安院屋敷　永田町元地　月一人

一本銀町新屋敷　月一人　一松下町二丁目　月一人

一同三丁目　月一人　一新華屋町　月二人

一新石町二丁目　月三人　一野路屋敷　月一人

一横大工町　月一人　一浜門町二丁目　月一人

一同二丁目　月二人　一三河町三丁目　月三人

一京橋町二丁目　月二人　一同裏町　月一人

一同　三丁目　月三人　一同代地ヲ　月二人

一三河町二丁目　月三人　一同七丁目　月一人

人書人足三拾三人

二番

一三河町三丁目　本書三人　一同裏町　月一人

一同　七丁目　月二人　一同裏町　月一人

一同新町　月一人　一紺屋町　月三人

一佐柄木町　月二人　一新堀町　月五人

一瓢箪町　月一人　一同七町　月一人

一多町二丁目　月三人　一同二丁目　月三人

一連雀所　日三人
メ壱人弐拾九人

三番

一元宗拍所　本壱人　元宗所　日一人
一源師所　日一人
一瓶法所二丁目　日三人
一堅大工所　日三人
一通彫石所　日三人
一佐橋本所代地本法所　日一人
金平屋敷所二丁目横町家地
メ壱人弐拾八人

四番

一須田所二丁目　本壱人　日三人

一小橋所一丁目　日三人　日二人
一丁目　三丁目　日二人
一橋本岩井所　日三人
一松田所　日二人
一恵門所　日一人
一永井所　日一人
メ壱人弐拾人

五番

一鉄屋所一丁目　本壱人　日二丁目　日三人
一田楽所　日一人　日三丁目　日三人
一九郎所　日一人　日一軒　日七人
一久左所二丁目代地　日二人　一佐賀所七丁目代地　日二人

一佐橋本所代地本法所
金平屋敷所二丁目横町家地

一懸造所　小泉所　　日一人　一元柿平六丁目　横山町之内代地　日一人

一龍宮所代地　　日二人　一鑓会横町代地　日一人

一横大工所代地　　日一人　一元岩井所　日三人

一岩本所　　日一人　一小伝馬上町　長谷川町　日一人

一大和所　　日四人

紺屋所三丁目　日三人

九郎所

一柳原岩井所　藤地　日三人

長谷川町

小伝馬上所

岩本所

人数合七拾七人

右之組

人数合百五拾七人

一上組人足百六拾一人　　絵合拾人　大鑓持

合人数百六拾七人

一大鑓　　壱本

一日桃灯　　一張

一日柄子　　一挺

一小鑓　　二本

但小鑓為ハ大鑓南番所ニ番目後目ニ御中ハ下ル世話番ニ本札をお已下中ハ

下札

南ハ二番目ニ千住ニ為ハ小鑓　北番所ニ本札世話番ニ為ハ大鑓ハ通上組無刺合後一本

一清口札番　　壱人　迄ハ大鑓南番ニ曙ハ札勘ハ沙汰以来ハ大鑓ニ

四之月お出し仕事

小組合一組ゝ道具

一挑灯　二張　但所書ふと字紙用ゝ字紙
一桶子　一挺　一書口　十本
一去蕎　二ツ　一小あみ竈　六ツ
一酒瓶　二ツ　一うちと　二本

右小組合一組所中合年所ゝ為新規仕候共一切渡事

一銚吐あ　二柄
一月懸　二本
一月挑灯　二張
一古銚吐あ　一柄　但小あみ竈ふと拾ふ大鍋ふ迄共ゝ除
大一月ゝ小組合一組所ゝ拾ふ切ゝお勘下事

但銚吐あ帯一月八度重ゝ火消役ふ渡拾ふ挑灯拾ふ事

上組火消役ふ渡

メ

大鍋　一本　小鍋　二本　挑灯　拾之張　但大鍋ふ渡
銚吐あ　二柄　懸　二本　桶子　五挺　但大鍋ふ渡
書口　五張ふ　去蕎　十　小あみ竈　三ツ　酒瓶　十
うちと　十本　酒口札筒　一ツ

右通ゝ火ゝ節拾出平事

享保元申年ゟ延享二丑年迄ニ町火消ゟ火場勤方商賣ニ
仕候ニ付
一町火消ゟ出張仕候ニ付ゟ仕候ニ付ゟ仕候ゟ
一町火消ゟ仕候節ゟ出張ゟ仕候ゟ
お組図ゟ子年八月右組合別ゟ小持ゟ仕候ニ付小持ゟ内ゟ火事
ゟ仕候ゟ火防仕候ゟ火元ゟ久集ゟ年ゟ乗引場内ゟ出張
ゟ仕候ゟ火防仕候ゟ内ゟ成年ゟ右ゟ接ゟ出張
十組ゟ成小持ゟ止ゟ以後ゟ一組内ゟ火ゟ節ゟ組消ゟ他組ゟ
年門場内ゟ出張ゟ仕候ゟ火元消防ゟ出張ゟ
出張ゟ次ゟ火消ゟ出張ゟ無ゟ仕候ゟ
消仕候ゟ長ゟ出張ゟ焼ゟ行曲輪内ゟ
一番組二番ゟ仕候ゟ曲輪内ゟ出火ゟ節ゟ組消ゟ仕候ゟ出張ゟ

巳年ゟ月右組消ゟ出張ゟ仕候ゟ安永元年ゟ二月一番組町
火消十組ゟ内ゟ組ゟ組ゟ組ゟ組ゟ八組ゟ出張ゟ様
消ゟ仕候ゟ遠火ゟ出張ゟ出張ゟ出張ゟ火場消防ゟ勤ゟ出張ゟ
十月ゟ十月ゟ作ゟ有ゟ作ゟ年ゟ安永元年ゟ年ゟ以前ゟ通ゟ出張ゟ仕候ゟ
四十月ゟ火場ゟ出張ゟ人数ゟ仕候ゟ不足ゟ出張ゟ
ゟ火ゟ節ゟ人ゟ仕候ゟ出張ゟ仕候ゟ出張ゟ
出張ゟ人ゟ年ゟ八場ゟ働ゟ人ゟ人ゟ人ゟ
ゟ仕候ゟ人ゟ仕候ゟ年ゟ以場ゟ出張ゟ
仕消防ゟ清ゟ仕候ゟ町火消二番組ゟ内ゟ仕候ゟ人数減少
ゟ仕候ゟ年ゟ出張ゟ十ゟ年ゟ十人ゟ人ゟ
方ゟ仕候ゟ宜ゟ出張ゟ仕候ゟ一番組二番組町火消ゟ仕候ゟ右振合ゟ仕候ゟ火
場人数ゟ方ゟ仕候ゟ二月ゟ出張ゟ十ゟ月ゟ十七日ゟ迄ゟ仕候ゟ

作事奉行様御作事に付き安永元辰年以前より通勤方相応役儀
仕候以上七作年月日
右作曲輪近辺所火消役仕曲輪火消人数
仕勤役に付外出火場に相仕候者
近所大勝人数お減ぜ申候所に付小屋に
付一組大屋一軒小屋二軒宛に付夜中地打に
世話一三番組所火消に流れ組所火消に
詰も有之又元年作定し人数に
組仕曲輪内出火に付世話仕
三番組所火消に付き安永元辰年十月中上通
又南之月廿七日仕曲輪内出火に付
仕候お役所左に

右作事奉行様御作事に付
天明七未年七月
南小年書
右南月廿二日辰市辰に付作事奉行様
に付き

安永元辰年十月一番組二番組所に曲輪内
己年十月組所作事奉行様に付
消方火防に付作事奉行様
千両屋敷に人数
屋敷に
組合所に何度に

後も行又中後亦如大町火消出場内消防ニ至ル以ハ相止
以来享保の中ニ通お紙条引後場所ニ至ル一方一
出曲輪内消防ニおゐて出ル者有ニて出ル者ハ其場ニ
ゆき通ル能ハ銭帳所面内ニ文夜中上ニ有町中家ゆゑ
信ル所信寄ニ入急ゆ中急ゆ桶ニ手ニ差出ル者ハ
所ニ行後ニ世事ニ手ニ行付ニ為場内通ル者ハ
中ニ為ル件

天明七申年九月

御奉行所

火事場見ニ於火事場町人ニ消防ニ出ル者ハ先年ニ
行後有ニ出ル大ニ町方ニ出ル火事場見ニ出ル者ハ

ニ出ル者ハ取扱ル後ニ行ル者ハ
十月八日

右ニ通ル者ニ能ル書付ニ為ル者ハ
出ル者ニ後ニ行ル者ハ通ル者ハ
中ニ為ル

以書付申上ル

伊奉行所

町火消ニ火場消防ニ出ル節火事場出ル者ハ
ゆゑ以前先年ニ行後ニ有ル町火消人行方ニ等付ル中ニ
一出火場ニ後ニ行ル者町奉行様ニ通人ニ出ル者ハ
出ル者ニ文消防ニ出ル者ニ通火事場出ル者ハ
後出ル止ル者ハ町方出ル者ニ後ニ出ル者ハ

新出火之節於陽所ニ町方ニ高下有之上火事場ニ成候方
ニ高有之ニ成双方ニ之ニ有之新町お祭場不混雑仕清掃
後見ニお祭以上人ニ之初お役者之通窓仕候ニ成候ニ
防之役火事場ニ成候方ニ高之文ニ相成候ニ成候も有之ニ付世
年之義役者之元を丸綱仕年中ニ世之義之事れ南町町方ニ
方之役ニ成候ニ付

右町等ニ付世帳中上候ニ

天保七申年十月九日

南北年番
名主共

右之通但小ニ年番之返言書之有之ニ付而
書付ニ

以書付中上ニ

町火消お火場清掃ニ之ニ成候ニ返火事場ニ見之方ニ成之ニ
之ニ成候ニ有之ニ成ニ町火消之方清掃ニ付中上ニ

一出火場ニ成ニ成ニ場所 御奉行様ニ下知ニ成ニ人ニ汲方ニ
力中之之ニ之ニ清掃ニ之ニ成ニ返火事場ニ見之方ニ成
高之ニ成之ニ成ニ久敷ニ成ニ年来ニ成ニ之ニ成ニ成ニ十年
役ニ来前書之通仕来ニ成ニ成ニ右場ニ成ニ町方ニ下知ニ之清
防仕候ニ之ニ又ニ火事場ニ見之方ニ高ニ之ニ成ニ成ニ
清掃ニ之ニ後ニ成ニ成ニ場ニ混雑仕候ニ火消人ニ之ニ成ニ八伝ニ無之
之ニ早稲ニ着ニ成ニ成ニ之ニ成ニ下知之ニ成ニ町方ニ成之ニ
成ニ之ニ之ニ用ニ之ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ之ニ成ニ
仕之ニ長場ニ成ニ成ニ成ニ成ニ少人ニ中ニ打ニ百達ニ勝ニ建ニ仕候
事ニ

大阪寺付南附町方人寄ニ成候会中出張仕候上

天明七年巳十月

南小路新蔵

橋爪
伊級所

覚

火事ニ成ニ用ニ者火事場ニ集り申ス者ニ対し御願如此年賦
御願見相ニ成大勢地集り火消方并往来ニ障ニ御願届ニ成候
ニ成用ニ者一切不取紙ニ成ニ成ニ成

集落成一切仕置等は退転仕候迄業務お取扱て帳文に通意致
年付者は名所中に解知らのもの

天明七年未十月

森村

町中連判

一町出潰　いにはよ万組
人足惣代
月切年惣代
名主共

一戌番組
ろせもすめ百姓
人足惣代
月切年惣代
名主共

一亥番組
ひさきゆてみ左衛
人足惣代
月切年惣代
名主共

一五番組
くやまけくにとふ左衛
人足惣代
月切年惣代
名主共

一六番組
なむこうのれ組
人足惣代
月切年惣代
名主共

一町内曲輪内出火に付町出潰に付消防次第消防おを以取扱
止候事享保年中に通て取扱ひ候を万一以後沙曲輪内出火有
之候ては時宜に応町出潰も消防に取扱
迄町に成り者若右様出火に帰八ツ迄宮曲輪和人数出
出候ては名主を以て出候右名主共人足出用に支障迄

入中賀義名兼名ニ人ニ於遣れ候て会右付尚又委細於書所双方
人ニ段ニ為ニ下役方ニ為ニ下

右ニ書迄外ニ段ニ中渡ニ方ニ為ニ組合ニ右ニ准ず必ず下ル

所ニ清八書迄
かわたは迄
人ニ迄代
月ニ年迄代
名ニ

月九書迄
れちつれ迄
人ニ迄代
月ニ迄代
名ニ

月十書迄ちちめを迄
人ニ迄代
月ニ迄代
名ニ

一ニ書迄或書迄ニ書迄又書迄ニ書迄ニ書迄所ニ清ニ為ニ曲輪ニ出ス
ニ佐場ニ出ス佐ニ組合ニ名ニ為ニ一ニ人ニ出ス火場ニ出ス長尾
并ニ役ニ方ニ内ニ内ニ出ス届ニ下ル

作曲輪外佐場

ニ書迄
神田橋出ス
長谷橋出ス

或書迄
長谷橋出ス
数寄屋橋出ス
青橋出ス

又書迄
虎出ス
ほ谷出ス

ニ書迄
市ヶ谷出ス

ニ書迄
雲橋出ス
元飯田所

ニ書迄
飯田橋出ス
ほ下出ス
虎出ス

ニ書迄
ほ谷出ス

ニ書迄
牛込出ス

小原出張所　[illegible]

但之書役之儀曲輪御役場[illegible]
上書役同様御役儀[illegible]

一[illegible]
一御城内[illegible]
一[illegible]
一曲輪御出[illegible]
右之通今[illegible]
会[illegible]

一書役之内上座
[illegible]
[illegible]
小[illegible]
[illegible]

天保七年
十月十八日

[illegible]

[illegible]

一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

但享保十四年に船ゝ他組ゝ船ゝ組ゝ月行司一人
於火事場ゝ右御番所ゝ相詰ゝ火ゝ及て遠方
ゝ参ゝ不達ゝ者ゝ向ゝ紙場ゝ集ゝ之且又右御番所ゝ
何組ゝ人数ゝ出ゝ居ゝ番所ゝ名ゝ分ゝ火防ゝ手組有ゝ間船
ゝ出ゝ大年久敷候ゝ長御仕ゝ武士時代ゝ番ゝ所ゝ
庶ゝ有ゝ文ゝ通ゝ行候ゝ月行事ゝ六人番兼ゝ申ゝ
ゝ内ゝ番ゝ手ゝ名ゝ作候事長ゝ

一番組　け　い　に　は
十番組ゝ内右ゝ名ゝ者ゝ之人ゝ不ゝ紙ナム　よ　ほ

二番組　こ　ゑ　へ　と
組五組ゝ内右月行　ち　り　ぬ　る　を

三番組　あ　さ　ゆ　め　み　し　ゑ　ひ
五番組ゝ内右月行　て　と　す

四番組　く　や　ま　け　ふ　こ　え　て
六番組ゝ内右月行　あ　さ　き　ゆ　め　み　し

五番組　も　せ　す
八番組ゝ内右月行　ん

六番組　ち　り　ぬ　る　を
八番組ゝ内右月行　わ　か　よ　た　れ　そ　つ　ね

七番組　む　う　の　お　く　や　ま
十番組ゝ内右月行　け　ふ　こ　え　て　あ　さ　き　ゆ　め　み　し　ゑ　ひ

八番組　け　ふ　こ　え　て　あ　さ　き　ゆ　め　み　し　ゑ　ひ
十番組ゝ内右月行

九番組　け　ふ　こ　え　て　あ　さ　き　ゆ　め　み　し　ゑ　ひ
十番組ゝ内右月行

十番組

七十番組 組子門内出火ニテ八番組九番組
右同断

東所 深川

右之通伝達有之候旨所司代より達候事長谷川伝兵衛

未十月十八日

名主共

一名主共出火場おい親人共若し帰宅致方十人組頭共相立名主共
お方へ参候ハヽ十人組共ハ参候ハヽ
おかい申ハヽ不苦ハヽ
一田町七丁目ハヽ一番組 右伝達之名主共お方へ参候ハヽ
譜代番番ハヽ町内支配ハヽ名主共

一拍子減ハヽ決ハヽ
拍子合ハヽ
一拍子人ハヽ別名お并伝所書付て出ハヽ
但町ハヽ拍子合ハヽ
お風通并伝馬日掛ハヽ書屋ハヽ伝ハヽ
ハヽ通ハヽ
一小門番所迄ハヽ
右ハヽ通ハヽ伝達方ハヽ
番屋

未十月 北方

十会

一番十月十八日 伝達ハヽ
番所出ハヽ
番屋

秋田年番

[illegible]
事太[illegible]後通知[illegible]
一市城内風聞悪敷[illegible]南伊賀新通迄[illegible]
所火消共[illegible]
[illegible]
[illegible]

外作田橋辺迄武家方并町方ゟ人足出武家方先ゟ
町火消人足方ゟ役出等ニ付たゝせ
一新田武家方町火消役人ゟ兼ねて
向ゟ出武家方ゟ人数ゟ出ス消防ニ相越ス出ス
宝永年十月ゟ町人脇ゟ自今ゟ組合二町内ゟ
出武士屋敷ゟ出ス人足ゟ
出ス人数ゟ通町火消一流ゟ
出ス勢ゟ出ス消人出ス
無ゟ出ス馬ゟ
出ス役ゟ出ス
町辺ゟ出ス武家方ゟ
ゟ并ゟ通仕来ゟ役出ス又社寺ゟ
出ス方ゟ出ス外出ス橋中小門前
辺ゟ流出ス新橋永岡ゟ橋辺ゟ
ゟ通辺町火消ゟ
ゟ通町火消ゟ出ス
ゟ出ス
ゟ出ス

寛十月

右之通組町江家作所之儀度々申上候ゆえ御願申上候
哉之段判形在西村方ヘ下ル申候ヘ

十月廿四日

町年寄
三人

大西町成家五郎兵衛方ヘ右之段申聞候事

享保年中町火消出来候ヘ上作城内并出輪内消防ヘ御願
仮屋ヶ崎大図被消防ヘ御願荒場元銀壱ヶ年之内
月十二ヶ村百姓ヘ家屋敷少ヶ年賦ヶ年賦ヶ付右ヘ通之儀
文礼之通被仰出候事

十月廿三日

享保年中作田輪内ヘ火消出来引場ヘ御願申上候

町内家作様ヶ所有ヘ消防ヘ御願申上候事

ヘ上出輪内ヘ火消防ヘ御願申上候ヶ付右申上

一町火消組合仕享保五子年三月廿日ヶ定ヶ有ヘ消防
出来引場御願申上候ヶ付ヘ火消ヘ御願申上候ヶ付
火消ヘ申ヘ火消ヘ出来引場ヘ御願申上
所ヘ消防ヘ御願申上候ヶ付出輪内ヘ御願申上
所ヘ御願申上候ヶ付享保五子年ヶ
内ヘ火消ヘ御願申上候ヶ付作城

享保十八丑年十月
一井伊兵部少輔様出屋敷内ヘ火消ヘ長町火消ヘ
内二番組二組世話ヶ組ヶ組ヶ組ヶ組ヶ組ヶ組ヶ組ヶ
銀米ヶ様出屋敷ヶ役ヶ御願ヶ内ヘ

延享元甲子年閏十月十六日
一二件九月大火ニ付出役寄之面一番組二番組三番組之町火消火防ニ被
仰付候
寅年
二月
一二月十五日出火之節出役寄之面消防ニ被仰付
寅年
一城内ニ被仰付候出役寄之面消防ニ被仰付
寅年
一林大学様御屋敷出火之節出役寄之面消防ニ被仰付
宝暦七丑年十月廿七日
一松平大炊頭様御屋敷出火之節出役寄之面消防ニ被仰付
明和元甲申年閏十月
一行橋出火之節出役寄之面消防ニ被仰付
明和五子年
右通享保年中ニ被仰付
一城内御曲輪内出火之節出役寄之町火消消防ニ被仰付
有之候ニ付而ハ
一御曲輪内出火之節ハ
明和九辰年大火後
御曲輪内ハ
寅年
二番組ニ被仰付
出役之儀ハ
一御城内御曲輪内消防ニ被仰付
右之通享保年中ニ被仰付

南北年番
奉行

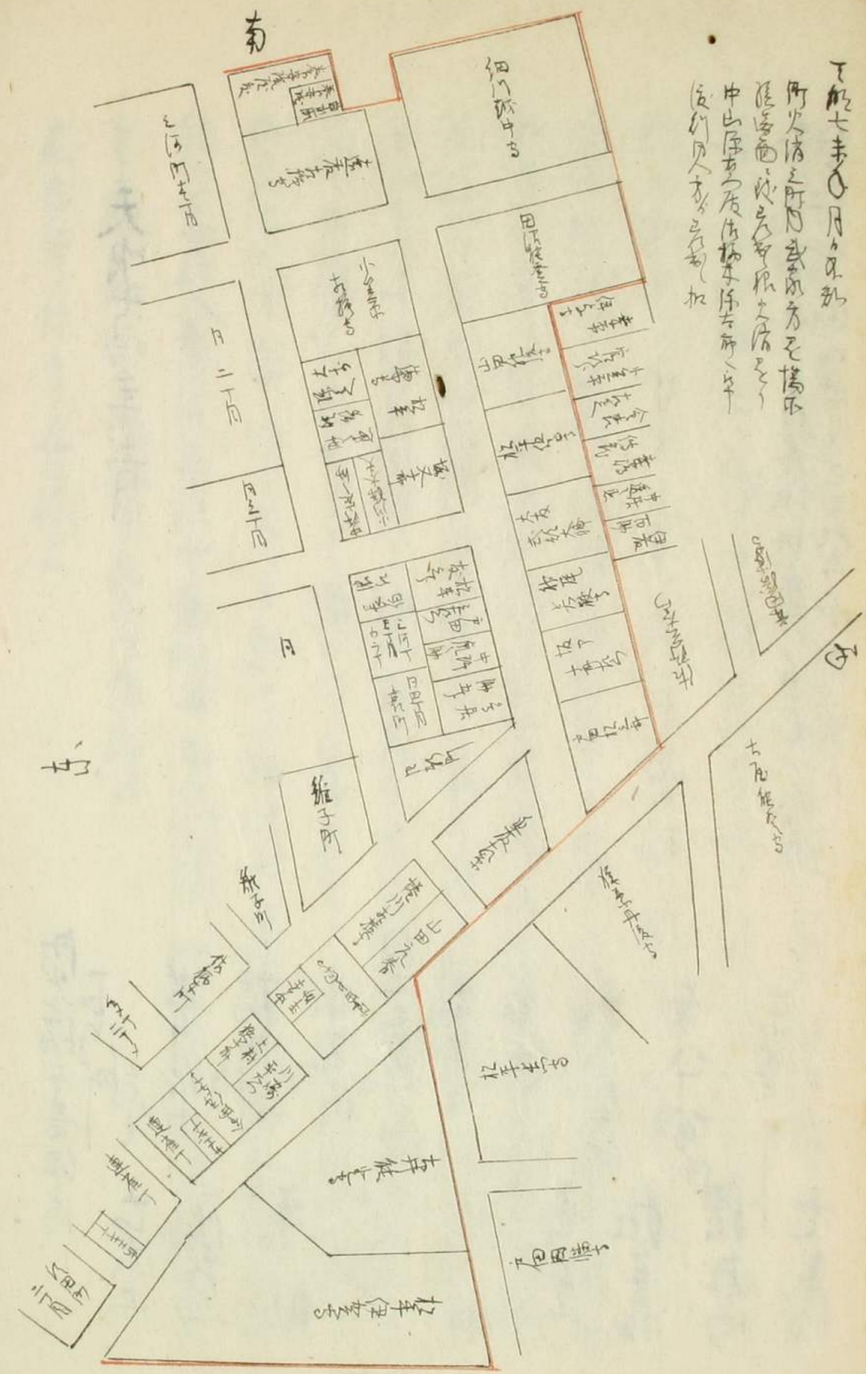
天明七未年十月

一町火消出役中上ル
町火消出役ハ
一町火消出役ハ
寅年
一町火消出役ハ
寅年
一町火消出役ハ
寅年

[illegible]

[illegible]

[illegible]


南
北
西
東
役所
郵便局
郵便局
郵便局